

亀岡市行財政改革大綱 2020-2024 実施計画

令和5年度上半期 取組結果

亀 岡 市

実施計画 取組項目一覧

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 ①市民目線に立った窓口サービスの構築

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
1	窓口サービスの充実・事務改善	企画調整課・市民課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
2	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実	広報プロモーション課	情報発信を行う各課	実施	実施	実施	実施	実施
3	市民協働の推進	市民力推進課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
4	公民連携によるまちづくり	企画調整課	全課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 ①分野横断的な組織体制の構築

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
5	庁内連携システムの確立	企画調整課	全課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
6	人材の育成、職員研修の充実	人事課・市立病院経営企画室	-	実施	実施	実施	実施	実施
7	人事評価制度の運用	人事課	-	実施	実施	実施	実施	実施
8	業務効率を高めるためのICTの活用	企画調整課・情報政策課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
9	電子決裁の推進	総務課	企画調整課、財政課、会計課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 ①経常的経費の見直し

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
10	経常的経費を含む事務事業の検証	財政課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
11	元金償還額を上回らない市債の発行	財政課	全課	実施	実施	実施	実施	実施
12	公共施設マネジメントの推進	財産管理課	各施設所管課	実施	実施	実施	実施	実施

重点取組事項 ②受益と負担の見直し

No.	取組項目	所管課	関係課	計画年度				
				R2	R3	R4	R5	R6
13	受益者負担の適正化	企画調整課・教育総務課	使用料・手数料の所管課	実施	実施	実施	実施	実施

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-①市民目線に立った窓口サービスの構築

実施計画シート								
No.	1	取組項目	窓口サービスの充実・事務改善					
所管課	企画調整課・市民課		関係課	保険医療課、高齢福祉課、障がい福祉課、税務課、情報政策課、窓口業務関係課				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口で提出する書類の簡素化や市民への効率的な案内方法等について、充実、事務改善を図る。 ・死亡届に伴う各種手続きについて、事前予約制による職員派遣型ワンストップ（※）窓口として、おくやみ窓口を設置する。 							
期待される効果	窓口業務の見える化と効率化により、待ち時間を減少させる。複雑な手続きが座って落ち着いた環境で出来る。高齢の遺族も安心して手続きが出来る。							
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6	
実施項目と計画	①窓口業務のあり方の検討							
	対象となる窓口業務の洗い出し（庁内調査）		準備	実施	実施			
	他市の状況調査		準備	実施				
	窓口業務のあり方の検討・改善			準備	実施	実施	実施	
	②おくやみ窓口の設置							
	各業務の対応時間確認、連携方法の検討、業務フロー決定		実施					
実施項目と計画	設置場所・設備関係の調査 設備の設置		実施					
	おくやみ窓口の運用			実施				
	目標指標	数値目標	見直しを検討・改善した窓口業務数	—	—	1	20	20
			おくやみ窓口の設置	90%	100%	—	—	—

進捗管理シート						
R5年度 実施状況	上半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務の事務改善、デジタル化の実施（16件）
	下半期	計画	【①窓口業務のあり方の検討】 窓口業務のあり方の検討（窓口のデジタル化の推進）		実績	
実施結果の 自己評価	評価					
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)
未達成の原因と今後の取組						
今後の方向性			コメント			
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性

※ワンストップ…1カ所の窓口カウンターで手続きをすること。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の 取組実績</p>	<p>【窓口業務の事務改善、デジタル化の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各種申請・手続きのオンライン化：12業務 ・ぴったりサービス（マイナポータル）各種申請受付（高齢福祉課） <ul style="list-style-type: none"> ①介護保険被保険者証再交付申請 ②保険給付等介護サービス等支給申請 ③要介護認定に係る各種申請 ④居宅（介護予防）サービス計画作成申請 ・高齢者インフルエンザ予防接種の費用免除申請（健康増進課） ・出産・子育て応援給付金に係る遡及分申請（子育て支援課） ・子ども医療制度拡充に伴う受給者証の申請（子育て支援課） ・ぴったりサービス各種申請受付（子育て支援課） <ul style="list-style-type: none"> ①児童手当、児童扶養手当に係る各種申請 ②母子健康手帳の交付申請 ③保育所入所等に係る各種申請 ・開発公園に係る補助金申請（都市整備課） ・亀岡市はたちの会に係る参加申し込み（社会教育課） <ul style="list-style-type: none"> ●インターネット予約受付：3業務 ・地球環境子ども村事業の申し込み（市民力推進課） ・妊娠の届出時面談・出産前面談・育児相談の予約（子育て支援課） ・「亀岡市子育て・親育ち」の申し込み（社会教育課） <ul style="list-style-type: none"> ●その他：1業務 ・地方税統一QRコード（eL-QR）を活用した市税の納付（税務課） <p>【参考（実証実験）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●窓口サービスのデジタル化 ・申請書作成支援ツール「Caora」の設置（市民課） ・字幕表示システム「Cotopat」の設置（高齢福祉課、障がい福祉課）
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けのオンラインサービスの利用者が今後どの程度増加するか、市民の利便性向上にどの程度寄与するか、利用状況の検証が必要である。 ・行政サービスのデジタル化・オンライン化は市民の利便性向上のみならず、事務効率化による職員の負担軽減につながるため、今後も積極的に導入を進める必要がある。
<p>今後の取組内容 （令和5年度下半期 以降の取組）</p>	<p>他の自治体の事例を参考にするなど、引き続き、所管課に対して積極的な事務改善の推進を呼びかける。</p>

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	2	取組項目	市政情報の共有化と広報、広聴機会の充実				
所管課	広報プロモーション課	関係課	情報発信を行う各課				
取組内容	市政情報の市ホームページ、SNS等による積極的な発信						
期待される効果	積極的な発信によって市政情報を共有し、市民の市政への参画の促進を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	情報発信に対するレスポンス数の調査		実施	実施	実施	実施	実施
	調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の年度総計	310,000	315,000	640,000	640,000	640,000

進捗管理シート

R5年度 実施状況	上半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査	実績	市ホームページへのアクセス件数、SNSフォロワー数の総計（上半期） 226,424件		
	下半期	計画	情報発信に対するレスポンス数の調査 調査結果を踏まえた今後の方向性の検討・見直し	実績			
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

進捗管理シート（詳細）

令和5年度上半期の取組実績	<p>新型コロナウイルス感染症関連の情報を毎日発信していた昨年度に比べて、ホームページ全体のアクセス数は減少したものの、LINE、Facebook、インスタグラムのフォロワー数は増加した。</p> <p>同時に、Instagram広告・YouTube広告などを配信をしたことで、亀岡市を認知し、一定の興味をもって市HPに訪問する層の確認ができた。</p> <p>■ 亀岡市公式ホームページ（TOPページ）のPV数：191,732 ■ LINEアカウントの友達数：23,856 ■ Facebookフォロワー数：4,580 ■ インスタグラムフォロワー数：6,256</p> <p>合計 226,424</p>
今後の課題	<p>既存アクセス者の居住地・年代・性別・趣味趣向などのデータをもとに、こういったターゲットに対して、亀岡市の情報を、どのくらいの量・頻度で届けるのか、事業ごとに詳細に検討し、その精度をあげていく必要がある。</p>
今後の取組内容 （令和5年度下半期以降の取組）	<ul style="list-style-type: none"> ・上期の反応をもとにレスポンス数の調査を行う。 ・デジタル広告を軸にSNSのフォロワー増加と公式ホームページへの流入の増加を目指す。

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	3	取組項目	市民協働の推進				
所管課	市民力推進課	関係課	全課				
取組内容	職員や市民、事業者等に対して地域の課題解決の必要性やそのための市民活動と協働について理解を広める手法を検討し、実施する。						
期待される効果	市民活動に参画する機運が高まり、関わる人が増える。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	市民活動と協働について理解を深める手法の検討・知る機会の創出		実施	実施	実施	実施	実施
	地域課題の共有と課題解決に向けた協働の促進		準備	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R5年度 実施状況	上半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた協議・検討		実績	亀岡市ホームページにおける広報、まちづくり協働推進委員会の開催（1回）、中間支援組織の機能強化に向けた協議・検討（1回）	
	下半期	計画	まちづくりワークショップの開催（1回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた協議・検討		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画	目標		-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と今後の取組							
今後の方向性		コメント					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標		III 妥当性		

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の取組実績</p>	<p>①亀岡市の広報誌やホームページ、SNSで以内の団体の行う事業（後援事業）や市民活動を支援する制度の広報を行った。（37件）また、令和4年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金の事業報告の貼りだしをギャラリーかめおか及び市庁舎で行うことで、一般に広く周知するとともに、市職員向けにも活用事業を紹介することにより周知を行った。</p> <p>②まちづくり協働推進委員会を開催し、事業予定の検討や市の支援制度に応募のあった事業についての協議を行った。（1回）</p> <p>③かめおか市民活動推進センターの機能強化に関する検討会を委託団体と共に実施し、外部からも参加いただき意見交流を行い、これからの運営や事業内容について検討を行った。（1回）</p>
<p>今後の課題</p>	
<p>今後の取組内容 （令和5年度下半期以降の取組）</p>	<p>まちづくりワークショップの開催（2回） 市民活動や協働に関する事例の提供 中間支援組織の機能強化に向けた協議・検討</p>

柱 1 質の高い行政サービスの創出

重点取組事項 1-②市民協働・公民連携による行政サービスの提供

実施計画シート

No.	4	取組項目	公民連携によるまちづくり				
所管課	企画調整課	関係課	全課				
取組内容	民間企業等との連携、民間活力の導入について検討し、公民連携によるまちづくりを進める。						
期待される効果	民間活力を導入することで、行政サービスの質の向上を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	民間企業等との連携、協定締結の推進		実施	実施	実施	実施	実施
	包括協定（※）に基づく施策の推進		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R5年度 実施状況	上半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定に関する状況把握	実績	上半期の協定締結状況及び連携協定の活用状況 の調査実施		
	下半期	計画	民間企業等との連携、協定締結の推進 協定締結結果の検証	実績			
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と今後の取組							
今後の方向性							
		コメント					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

※包括協定…特定の分野に限ることなく、幅広い分野において協力しながら、取組を進めるために締結する協定のこと。

進捗管理シート（詳細）	
令和5年度上半期の取組実績	<p>≪民間企業等との包括協定締結：0件≫</p> <p>≪民間企業等との個別連携協定締結：3件≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●未来づくり環境パートナーシップ協定 協定締結日（締結先）：令和5年8月28日（(株)JT京都中央支店） 協定締結日（締結先）：令和5年9月29日（TerraCycle Japan(同)） ●サイボウズクラウドサービス特別対応の適用に関する合意 協定締結日（締結先）：令和5年8月1日（サイボウズ(株)） <p>≪令和4年度までに締結した連携協定の活用状況≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●合計186件（包括協定11件、個別協定：175件） ●令和5年度上半期の主な取組・成果 <ul style="list-style-type: none"> ・朝日放送グループホールディングス株式会社との包括連携協定に基づき、番組制作放映等によるメディアプロモーションを展開した。 ・デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社との包括的連携に基づき、デロイト社員を参与として受け入れ、オープンイノベーションセンターの効果的な活用等、産業振興に寄与した。
今後の課題	<p>関係課が複数にまたがる包括連携協定の締結までに時間を要する傾向があり、効率的な仕組みの構築が必要である。</p> <p>包括連携協定締結後、事業者側の負担もあり、実績に乏しい傾向があるため、締結段階で具体的な連携内容を調整する必要がある。</p>
今後の取組内容 （令和5年度下半期以降の取組）	<p>引き続き、民間のノウハウを活用した効果的・効率的な行政サービスの向上のため、公民連携の推進を図るとともに、活用状況の検証に努める。</p>

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-①分野横断的な組織体制の構築

実施計画シート							
No.	5	取組項目	庁内連携システムの確立				
所管課	企画調整課		関係課	全課			
取組内容	様々な行政課題に対応するため、プロジェクトチームやワーキンググループ等を活用し、課を越えた横の連携を強化する。 組織の活性化と行政運営の効率化を図るため、プロジェクトチーム等の設置のあり方を見直す。						
期待される効果	横の連携を強化することで、施策の推進や行政課題の解決を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用		実施	実施	実施	実施	実施
	プロジェクトチーム、ワーキンググループの現状及び課題の把握		実施	実施	実施		
	プロジェクトチーム、ワーキンググループ設置のあり方を見直し			準備	実施	実施	実施
	多様な連携方法の検討・試行					実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	

進捗管理シート							
R5年度 実施状況	上半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 運用マニュアルの作成	実績	上半期の設置状況及びこれまでに設置したプロジェクトチーム、ワーキンググループの活用状況の調査実施		
	下半期	計画	プロジェクトチーム、ワーキンググループの活用 運用マニュアルの庁内周知	実績			
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と今後の取組							
今後の方向性							
			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の取組実績</p>	<p> ≪プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の設置：2件≫ ●生成A Iサービスの活用に係る調査・研究ワーキング会議の設置 設置日：令和5年5月22日 目的：I C T技術を活用した行政運営の効率化の観点から、現在一部自治体でも運用が開始されている「生成A Iによる対話型チャットサービス」の活用について調査・検討する。 </p> <p> ●亀岡市電子決裁推進に係る庁内ワーキンググループの設置 設置日：令和5年5月15日 目的：電子決裁の運用拡大を進めるにあたって、幅広い視点から現状における課題の整理や事務の効率化に向けた積極的な検討を行う。 </p> <p> ≪令和4年度までに設置したプロジェクトチーム等の活用状況≫ ●継続：12グループ、廃止：2グループ </p> <p> ●令和5年度の主な取組・成果 【「亀岡市と朝日放送グループホールディングス株式会社との包括連携協定」に係るワーキンググループ】 ・令和4年度に若手職員が提案した「犬と暮らしやすいまち」をテーマにローカルプレスの作成・発行を行った。 </p> <p> ≪その他庁内連携≫ ●亀岡市子どもファースト推進本部の設置 設置日：令和5年7月20日 目的：子どもファースト宣言に基づく取組を総合的かつ計画的に推進するため、事業の周知、啓発及び進行管理を行う。 </p>
<p>今後の課題</p>	<p>プロジェクトチーム・ワーキンググループ等の活用による効率的・効果的な行政サービスの向上のため、課を超えた横の連携の重要性のさらなる浸透が必要である。</p>
<p>今後の取組内容 (令和5年度下半期以降の取組)</p>	<p>プロジェクトチーム等の設置目的を明確化し、目的達成に向けた計画を予め作成するなど、一定のルールが必要であると考え、マニュアル等の作成を行う。</p>

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート							
No.	6	取組項目	人材の育成、職員研修の充実				
所管課	人事課・市立病院経営企画室		関係課	—			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修や階層別研修、派遣研修等の実施効果の検証や見直し等を行い、職員研修の充実を図る。 ・日々発生する医療の課題に対して、各部署参加の委員会、研修会を実施し、病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力を強化する。 						
期待される効果	職員の業務能力の向上、職員の仕事に対するモチベーション向上						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①人材の育成、職員研修の充実						
	研修計画の策定と運用		実施	実施	実施	実施	実施
	職員研修、他団体への派遣研修		実施	実施	実施	実施	実施
	②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化						
	医療安全管理に係る研修会		実施	実施	実施	実施	実施
感染対策に係る研修会		実施	実施	実施	実施	実施	
目標指標	数値目標	選択希望制研修の延べ受講者数	100	105	110	115	120
		医療安全管理及び感染対策に係る研修会の実施回数	2	2	3	3	3

進捗管理シート						
R5年度 実施状況	上半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会	実績	【①人材の育成、職員研修の充実】 研修計画の策定および運用、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 医療安全管理に係る研修会の実施	
	下半期	計画	【①人材の育成、職員研修の充実】 次年度の研修計画の策定、職員研修、他団体への派遣研修 【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】医療安全管理に係る研修会または感染対策に係る研修会	実績		
実施結果の 自己評価	評価					
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)
	評価					
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組						
今後の方向性		コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	① I 計画		II 目標		III 妥当性
		② I 計画		II 目標		III 妥当性

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の 取組実績</p>	<p>【①人材の育成、職員研修の充実】 ○令和5年度職員研修計画を策定し、運用を行った。 ○職員研修（市主催）を実施した。 階層別研修：段取り研修など ○派遣研修を実施した。 JAMP「上下水道事業の経営管理」「ナッジ等を活用した政策イノベーション」 JIAM「外国人相談窓口の運営」など2件 ○他団体への派遣研修を実施した。 株式会社博報堂、株式会社京都パープルサンガ、一般社団法人森の京都地域振興社、京 都府、京都先端科学大学</p>
<p>今後の課題</p>	<p>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 ・医療安全管理に係る研修を1回実施。（5月～9月） 「サイバーセキュリティ対策」をテーマとして、全職員を対象に昨今、増加しているサイ バー攻撃の現状と原因、サイバーセキュリティ対策について動画視聴による研修、およ びセキュリティに係るガイドライン、マニュアル等の周知を行った。日々のセキュリティ 対策等の種々の知識を得るとともに、サイバー攻撃に対する危機管理意識の向上につなげ た。</p> <p>【①人材の育成、職員研修の充実】</p> <p>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今回の研修は、専門用語が多く、アンケートには「難しかった。」という意見があった。 また、研修時間が長かったため、学習効果に影響を与えたと考えられる。 今後の研修については内容、時間を工夫し実施していく必要がある。</p>
<p>今後の取組内容 （令和5年度下半期 以降の取組）</p>	<p>【①人材の育成、職員研修の充実】 ○次年度の研修計画の策定を行う。 ○上半期に引き続き、職員研修及び他団体への派遣研修を行う。</p> <p>【②病院全体のリスク管理能力及び危機管理能力の強化】 今後も公立病院として適切な目的で研修会を開催し、継続して職員の能力（対応力）強化 に努める。</p>

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	7	取組項目	人事評価制度の運用				
所管課	人事課	関係課	—				
取組内容	職員のモチベーションや仕事の充実感を高めるような人事評価制度の運用を図る。 また、毎年度の実施状況等に応じてより良い評価制度となるよう、制度の見直しを行う。						
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の主体的な職務の遂行及びより高い能力を持った公務員の育成 ・ 組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、住民サービス向上の土台をつくる 						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	人事評価	実施					
	(職務目標の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談)						
	人事評価制度の見直し	実施					
目標指標	数値目標	—	—	—	—	—	

進捗管理シート

R5年度 実施状況	上半期	計画	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)		実績	業績評価の「職務目標」の設定、スタートアップ面談(目標設定面談)、行動記録表の記入	
	下半期	計画	フォローアップ面談、能力評価、業績評価、総合評価、フィードバック面談(育成面談)、ステップアップ面談、実施状況・結果の検証		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画	目標	—	目標 (実績値)	—	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性		コメント					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標	III 妥当性			

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の 取組実績</p>	<p>○人事評価のうち業績評価に係る「職務の目標」を被評価者本人が設定した。「職にふさわしい目標か」「成長につながる目標か」「組織目標を踏まえた目標か」「何を」「いつまでに」「どの水準まで」「どのように」といった視点を踏まえ設定した。</p> <p>○被評価者と1次評価者との間でスタートアップ面談（目標設定面談）を行い、業績評価の「職務の目標」が被評価者にとってふさわしい目標となっているのかを確認のうえ確定し、認識の共有化を図った。職位や組織目標との整合性が取れていない場合は目標の修正を指導した。その他業務遂行に際しての双方の要望や意見等について話し合いを行った。</p> <p>○評価者は部下を評価する際の参考資料として、日頃から部下の行動を見守り、望ましい行動、望ましくない行動、それらに対する指導内容などを随時「行動記録表」に書きとめた。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>職員のモチベーションや仕事の充実感を高められる運用とするためには、各職員の制度に対する習熟が要素の一つとなることから、継続した運用が必要と考えられる。</p>
<p>今後の取組内容 （令和5年度下半期 以降の取組）</p>	<p>上半期に引き続き行動記録表を記入するとともに、1月1日を基準として今年度の能力評価・業績評価・総合評価を行う。また、評価結果のフィードバック面談（育成面談）、ステップアップ面談の実施を通して、能力開発、育成点、キャリアアップ等のアドバイスを実施する。</p>

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	8	取組項目	業務効率を高めるためのICTの活用				
所管課	企画調整課・情報政策課		関係課	全課			
取組内容	効率的で持続可能な行財政運営を推進するため、RPA（※）を始めとする業務の効率化が期待できるICT（情報通信技術）の活用を図る。						
期待される効果	業務の効率化を図り、よりよい市民サービスにつなげる。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	RPAの活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI-OCR（※）活用及び活用業務の拡大		実施	実施	実施	実施	実施
	AI（※）の活用検討			実施	実施	実施	実施
	ICTツールの調査研究			実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	RPA適用を検討・導入した事務数	3	5	5	5	5

進捗管理シート

R5年度 実施状況	上半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、シナリオ作成技術者育成トレーニング（操作研修）、AI活用に関する調査、ICTツールの調査研究		実績	RPA、AI-OCR運用、シナリオ作成1本 シナリオ作成技術者育成トレーニング（操作研修）、AI活用に関する調査・実証運用、ICTツールの調査研究・実証運用	
	下半期	計画	RPA、AI-OCR運用 シナリオ作成、AI活用に関する調査 ICTツールの調査研究 次年度RPA適用業務の検討		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画	目標		目標 (実績値)		
未達成の原因と今後の取組							
今後の方向性							
		コメント					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画	II 目標		III 妥当性		

※RPA…定型的なパソコン操作をソフトウェア型ロボットにより自動化すること。
 ※AI-OCR…人工知能（学習機能）を搭載した、文字を読み取って文字データへと変換する技術のこと。
 ※AI…人工知能のこと。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の 取組実績</p>	<p>○RPA、AI-OCR運用 市民課 : 住民異動月次資料作成 税務課 : 市民税申告書入力業務他 : 還付伝票作成業務 保険医療課 : 国民健康保険 口座振替依頼書情報登録業務 地域福祉課 : 低所得世帯支援給付金申請受付業務 保育課 : 保育所入所決定結果登録業務 お客様サービス課 : 漏水減額等還付伝票作成業務 教育総務課 : 支出負担行為兼支出伝票作成業務等</p> <p>○RPAシナリオ作成 低所得世帯支援給付金（内製）</p> <p>○RPA操作研修の実施 操作研修会実施（9/20） 21名参加</p> <p>○AI活用に関する調査 生成AIサービスの導入に向けたソリューション・導入事例の調査</p> <p>○ICTツールの調査研究 マイナンバーカード等を活用した申請書自動作成ソリューションの調査・実証 窓口用字幕システム実証</p>
<p>今後の課題</p>	<p>導入から5年が経過し、運用が安定してきている一方で、既存ライセンスの更新時期にも差し掛かっていることから、市職員が日々使用しているPCや業務システムといった環境面も意識しつつ、ソフトウェアの変更も視野に入れながらライセンスの更新を検討する必要がある。</p>
<p>今後の取組内容 （令和5年度下半期 以降の取組）</p>	<p>今年度目標の達成（計5件のRPAシナリオ作成）</p>

柱 2 職員力の最大化

重点取組事項 2-②一人ひとりが能力を發揮できる職場環境づくり

実施計画シート

No.	9	取組項目	電子決裁の推進				
所管課	総務課	関係課	企画調整課、財政課、会計課				
取組内容	迅速な意思決定と効率的な事務執行のため、電子決裁の浸透と対象範囲の拡大に取り組む。						
期待される効果	事務の効率化・迅速化の推進、コピー使用量及び紙文書の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	運用状況の把握、先行自治体等の調査・研究		実施				
	庁内における推進体制の確保		準備	準備	実施	実施	実施
	環境整備（財務会計システムとの連携、機器の導入、各種規程の見直し）			準備	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	-

進捗管理シート

R5年度 実施状況	上半期	計画	文書管理システム及び財務会計システムの更新に向けた準備・検討	実績	ワーキンググループ会議の実施 新システム導入に向けた先行自治体視察 プロポーザルの実施に向けた準備		
	下半期	計画	文書管理システム及び財務会計システムの更新に向けたプロポーザルの実施、業者選定等	実績			
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の 取組実績</p>	<p>文書管理システムと財務会計システムを一体的に更新するため、庁内ワーキンググループを設置して検討を行い、仕様書や機能要件の作成等、プロポーザルの実施に向けた準備を進めることができた。</p> <p>【亀岡市電子決裁推進に係る庁内ワーキンググループ】 第1回 令和5年6月1日 第2回 令和5年9月26日 ※他に企業からのデモンストレーションや各課担当者での個別協議・進捗確認等の会議を6回実施 ※先進市である舞鶴市との意見交換を実施</p> <p>【主な協議内容】 ・電子決裁推進に関する協議 ・令和5年度は財務会計システム及び文書管理システムの連携を見据えた更新についての協議 ・プロポーザル実施に向けた両システム及び電子決裁システムに関する仕様や機能要件等の検討</p>
<p>今後の課題</p>	<p>財務会計及び文書管理システムの更新が終了してからの活用について、次の目標設定等の検討が必要</p>
<p>今後の取組内容 （令和5年度下半期 以降の取組）</p>	<p>財務会計及び文書管理システム更新のプロポーザル実施</p>

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	10	取組項目	経常的経費を含む事務事業の検証				
所管課		財政課	関係課	全課			
取組内容	経常的経費（※）を含む事務事業の実態を把握、検証した上で、事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルド（※）などを徹底することで、健全で持続可能な財政運営を行う。						
期待される効果	最少の経費で最大の効果を挙げることの徹底						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	財政担当による経常的経費を含む事務事業の見直しや改善・課題点などの検討		実施	実施	実施	実施	実施
	主管課による事務事業の実態把握及び検討		実施	実施	実施	実施	実施
	検討事項の審査		実施	実施	実施	実施	実施
	当初予算など編成事務において事務事業の取捨選択やスクラップ・アンド・ビルドなどの実施		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	経常的経費における事務事業の見直し（検討数）	10	10	10	10	10

進捗管理シート

R5年度 実施状況	上半期	計画	改善・課題点等の検討 主管課による実態把握及び改善・課題点等の検討 検討事項の審査				実績	既存事業の見直しについて各課へ照会 要求上限額配分作業実施 財政最適化に向けた取組開始 当初予算編成等検討開始	
	下半期	計画	審査結果に基づく当初予算などの編成				実績		
実施結果の 自己評価	評価								
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)			
未達成の原因と今後の取組									
今後の方向性		コメント							
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性			

※経常的経費…義務的経費（支出が義務付けられている人件費、扶助費及び公債費の合計）のほか、物件費、補助費等で毎年度継続的に支出される経費のこと。

※スクラップ・アンド・ビルド…既存事業の見直しや改善、廃止を意識し、事業の再構築を図ること。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の取組実績</p>	<p>持続可能で安定した財政運営を維持しつつ、子どもファースト事業や今後控える大型事業にも財源を活用できるよう、次のとおり既存事業の見直し等を実施した。</p> <p>令和5年7月18日 既存事業の見直し等について各部局室へ照会 令和5年8月22日～28日 12部34事業について市長、副市長と各部室局長によるヒアリングを実施</p> <p>上記を踏まえ、スクラップ・アンド・ビルドを徹底することなどにより、経費削減に努め、今後の予算編成につなげる。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>世界情勢の影響などによる原油価格や物価の高騰により、財源不足及び追加の経済対策にかかる事業などが見込まれることから、更なる経常経費削減に努める必要がある。</p>
<p>今後の取組内容 （令和5年度下半期以降の取組）</p>	<p>費用対効果等を検証し、当初予算などを編成</p>

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート

No.	11	取組項目	元金償還額を上回らない市債の発行				
所管課	財政課	関係課	全課				
取組内容	償還財源に多額の一般財源を充当することから、市政運営の根幹にかかわる事業を除き、市債は、公債費の元金償還額を上回らない発行額とすることで、健全財政を維持する（※）。						
期待される効果	償還財源に多額の一般財源を充当する公債費の削減						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	元金償還額を上回らない市債の発行		実施	実施	実施	実施	実施
	公債費の抑制		実施	実施	実施	実施	実施
目標指標	数値目標	年度末の市債残高	421.0億円	418.5億円	416.0億円	413.5億円	411.0億円

進捗管理シート

R5年度 実施状況	上半期	計画	主管課による事業の優先順位等の検討・決定 財政フレーム等の検討		実績	市債発行を伴う事業費について各課へ照会、 優先順位等の検討	
	下半期	計画	検討結果に基づく当初予算等の編成		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)	
未達成の原因と 今後の取組							
今後の方向性			コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性	

- ※一般財源…用途が特定されない財源のこと（市町村税や普通交付税など）。
- ※市債…学校建設や道路整備のように一時的に多額の費用が必要となる時に、地方公共団体が国や銀行などから借り入れる資金のこと。
- ※公債費…地方公共団体が長期的に借り入れた資金（地方債）の元利償還金や、一時的に借り入れた資金の利子の支払いに要する経費。
- ※元金償還額…市債の元金返済額のこと。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の取組実績</p>	<p>少子高齢化による社会保障関係経費の増加等の課題に対応しつつ、健全で持続可能な財政運営を維持するため、現在の財政制度等が継続すると仮定して、今後、5年間の中期財政見通しを毎年度作成している。</p> <p>今年度の中期財政見通しを作成するにあたり、今後見込まれる普通建設事業等について各部へ照会し、健全財政を維持しながら市債の発行を抑制するため、見通し期間中（令和6年度～令和10年度）の市債発行総額（約152億円）が、元金償還総額（約175億円）を上回らないように努めることで、期間末の市債残高を減少させられるよう検討を進めた。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>市民生活等の向上を鑑み、緊急性や優先度が高い普通建設事業を推進するとともに、元金償還額を上回らない市債発行に努め、その均衡を図る中で、健全財政を維持する必要がある。</p>
<p>今後の取組内容 （令和5年度下半期以降の取組）</p>	<p>検討結果に基づき、当初予算などを編成する。</p>

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-①経常的経費の見直し

実施計画シート							
No.	12	取組項目	公共施設マネジメントの推進				
所管課	財産管理課		関係課	各施設所管課			
取組内容	公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（施設の廃止、統合等）などを検討し、効率的・効果的な施設運営のあり方を検討し、見直す。						
期待される効果	施設の適正化により安定した財政運営を図る。						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	施設の廃止、統合等の検討・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
	各施設個別計画の策定		実施	実施			
	各個別施設計画の内容精査					実施	実施
目標指標	数値目標	建築施設延床面積削減率（平成28年対比）	1.48%	1.85%	2.22%	2.59%	2.96%

進捗管理シート						
R5年度 実施状況	上半期	計画	・各個別施設計画の内容精査 ・亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂（案）の作成	実績	・各施設所管課にて個別施設計画の内容精査 ・個別施設計画の内容を踏まえて亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂（案）の作成	
	下半期	計画	・亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議の開催 ・亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂	実績		
実施結果の 自己評価	評価					
	達成度	計画		目標		目標 (実績値)
未達成の原因と 今後の取組						
今後の方向性		コメント				
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I 計画		II 目標		III 妥当性

※公共施設マネジメント…公共施設の計画的な維持修繕による長寿命化や施設保有総量の最適化（総量縮減）など、市が保有する公共施設を最適に維持管理し、有効活用を図ることで、適切な行政サービスの提供と安定した財政運営を両立させるための取組のこと。

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の 取組実績</p>	<p>令和2、3年度に策定した各個別施設計画について、各施設所管課において内容を精査し、追記・修正を行うとともに、新規施設については個別施設計画の策定を行った。 また、各個別施設計画の内容を踏まえ、亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂（案）を作成した。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>公共施設が新設・増築される中で、既存施設の統廃合も踏まえて目標としている延床面積10.7%の削減に向けての具体的な方法を確立していく必要がある。</p>
<p>今後の取組内容 （令和5年度下半期 以降の取組）</p>	<p>上半期に各施設所管課において追記・修正を行った各個別施設計画の内容及び亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂（案）について、亀岡市公共施設マネジメント推進本部会議に諮り承認された内容を反映し、亀岡市公共施設等総合管理計画の改訂を行う。</p>

柱 3 財政基盤の安定化

重点取組事項 3-②受益と負担の見直し

実施計画シート							
No.	13	取組項目	受益者負担の適正化				
所管課	企画調整課・教育総務課	関係課	使用料・手数料の所管課				
取組内容	受益と負担の公平性を確保する観点から、公共サービスの手数料や使用料について、近隣市との比較による現状分析等を実施し、適正な負担の程度の検証や適正化を図る。						
期待される効果	受益と負担の公平性を保つ						
計画年度			R2	R3	R4	R5	R6
実施項目と計画	①使用料・手数料の検証						
	使用料・手数料の状況把握、近隣市の状況調査		実施	実施	実施		
	調査結果の検証、近隣市との比較等による現状分析			実施	実施	実施	
	使用料・手数料の適正化の検討・見直し			実施	実施	実施	実施
	②学校施設使用料の検証						
	学校施設使用料の状況把握、近隣市の状況調査		実施				
	調査結果の検証 近隣市との比較等による現状分析		実施				
使用料徴収の適正化を検討・見直し			実施				
目標指標	数値目標	-	-	-	-	-	

進捗管理シート							
R5年度 実施状況	上半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 ・インボイス制度開始に係る近隣市等の対応状況調査 ・手数料の他市設定状況調査		実績	【①使用料・手数料の検証】 ・インボイス制度開始に係る近隣市等の対応状況、 手数料・使用料の見直し状況調査 ・本市の使用料・手数料の見直し状況調査	
	下半期	計画	【①使用料・手数料の検証】 インボイス制度開始に係る使用料等適正化の検討 ・手数料の他市設定状況調査		実績		
実施結果の 自己評価	評価						
	達成度	計画		目標	-	目標 (実績値)	-
未達成の原因と今後の取組							
今後の方向性							
		コメント					
行政改革推進 委員会の評価	達成度	I計画		II目標		III妥当性	

進捗管理シート（詳細）

<p>令和5年度上半期の 取組実績</p>	<p>【①使用料・手数料の検証】</p> <p>○インボイス制度開始に係る近隣市等の対応状況、手数料・使用料の見直し状況調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市の対応状況を参考に、対応マニュアルの作成、関係条例の改正を行いました。 ・制度対応に伴う料金の見直しを行った自治体はありませんでした。 <p>○本市の使用料・手数料の見直し状況調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●見直した手数料：2件（市立病院） <ul style="list-style-type: none"> ・死後処置料を府内公立病院と同水準とするため見直し。 （変更前）5,500円→（変更後）11,000円 ・訪問看護に係る交通費を新設→550円 ●見直した使用料：1件（かめまるランド） <ul style="list-style-type: none"> ・市民利用の利便性を高めるため、市民以外の料金を新設（市民は無料） →平日大人1名400円、休日大人1名600名
<p>今後の課題</p>	<p>インボイス制度開始に伴う料金の見直しについては行いませんでしたが、これまで行われた消費税の増額や物価の高騰も考慮し、適正な受益者負担となるよう検証を続ける必要があります。</p>
<p>今後の取組内容 （令和5年度下半期 以降の取組）</p>	<p>インボイス制度開始後の各課の対応状況を調査し、必要に応じて運用方法の見直しを行います。また、引き続き、他市の状況も注視しながら、適正な料金設定に努めます。</p>